

まちづくりプランナーになろう



| 学校 | 学校運営協議会 | 地域学校協働活動推進員等数 (赤字は内学校運営協議会委員数) | 地域学校協働本部 |
|---------------|-----------------------|-----------------------------------|---------------------------|
| 三鷹市立 第二小学校 | にしみたか学園コミュニティ・スクール委員会 | 地域学校協働活動推進員 0名 0名 | にしみたか学園コミュニティ・ス クール委員会 |
| | 平成19年4月1日 指定 | 地域コーディネーター 1名 1名 | |
| 三鷹市立 井口小学校 | にしみたか学園コミュニティ・スクール委員会 | 地域学校協働活動推進員 0名 0名 | にしみたか学園コミュニティ・ス クール委員会 |
| | 平成19年4月1日 指定 | 地域コーディネーター 1名 0名 | |
| 三鷹市立 第二中学校 | にしみたか学園コミュニティ・スクール委員会 | 地域学校協働活動推進員 2名 2名 | にしみたか学園コミュニティ・ス クール委員会 |
| | 平成19年4月1日 指定 | 地域コーディネーター 0名 0名 | |



取組の背景及び目標や目指す姿

背景

にしみたか学園アクションプラン 「めざす児童・生徒像」

- ① 自ら考え、行動し、自ら未来を切り拓いていく児童・生徒
- ② 失敗を恐れず、積極的にチャレンジしていく児童・生徒
- ③ 常に学び続ける児童・生徒
- ④ 共に生きる力を育んでいく児童・生徒

※ 子どものプランをベースに、コミュニティ・スクール委員会(以下、「CS委員会」という。)主催による子どもとの懇談会、PTAや教員との熟議を経て、CS委員会を中心となって策定

目標や目指す姿(学校)

生徒の知的好奇心を高めるような、自ら学びたいと思える課題を提示しよう。

目標や目指す姿(地域)

子どもたちの学びのために、地域の大人と子どもたちの交流をする。



にしみたか学園コミュニティ・スクール委員会 の特徴

委員の立場や属性等

- | | |
|---|--------------------------------|
| <input type="checkbox"/> 現役PTA役員 | <input type="checkbox"/> 町会 |
| <input type="checkbox"/> 歴代PTA正副会長 | <input type="checkbox"/> 学識経験者 |
| <input type="checkbox"/> 放課後子供教室代表者 | <input type="checkbox"/> 各校校長 |
| <input type="checkbox"/> 住民協議会 | など、計 28 名で構成 |
| <input type="checkbox"/> 青少年対策地区委員会・交通対策地区委員会 | 年間平均 10 回程度開催 |

効果的な運営の工夫

- ・ 各部会の動向を可視化するため、毎回部会報告を行い、進捗確認等の情報共有と質疑を行い、委員全員が把握している。
- ・ 毎回CS委員会終了後に委員全員参加のミニ熟議を実施し、全員が一言は発するとともに、にしみたか学園について考える時間を設けている。
- ・ 学校と地域とのつなぎ役を担うスクール・コミュニティ推進員(地域学校協働活動推進員)も委員となっており、CS委員会と学校の連携を強化している。



特徴的な取組と成果・効果

学校運営協議会

CS委員会を中心となって策定した「にしみたか学園アクションプラン」を踏まえた取組となるよう、講師から子どもたちに話してもらいたい内容等を取りまとめ、取組の意義や目的等の共有をサポートした。当日には、一部委員は講師として登壇した。

後日開催されたCS委員会内では、「地域と連携したキャリア教育」をテーマに、子どもに学んでほしいことなどを熟議し、地域学校協働活動から得た知見を協議に活かしている。



アクションプラン策定に向けた生徒会との懇談会

地域学校協働活動

CS委員会内コーディネート部とスクール・コミュニティ推進員を中心に、アクションプラン等を踏まえて企画し、様々な職業の地域人材を探し、講師交渉した。また、当日の運営とともに、今後の地域学校協働活動につながるよう、授業終了後に講師同士の懇談会を実施した。後日CS委員会にて活動報告を行い、今後の活動に活かしていく。

【まちづくりプランナーになろう】総合的な学習の時間に、行政関係者とまちづくりに携わる地域人材の2人1組による講話と、子どもたち自身がまちづくりプランを考え、講師から講評をもらう授業



当日の座談会の様子

「コミュニティ・スクールと地域学校協働活動の一体的実施」のための工夫等

学園の目指す方向性である「にしみたか学園アクションプラン」は、CS委員会を中心となって、子ども・学校・保護者・地域が一体となって策定しており、これに基づき地域学校協働活動の展開が図られている。加えて、学園の目指す児童・生徒像の実現に向けて、協議と活動が一体的に行われるよう、CS委員が地域学校協働活動の中核を担う体制を構築している。

取組

成果・効果

- ◆ 子どもたちの提案から「いろいろな人と交流したい」「みんなで協力してつくり上げたい」という思いが随所に見られ、目標としていた「まちづくりに関わろう」という気持ちを醸成することができた。
- ◆ 授業終了後に開催した講師同士の懇談会では、大人にとっても発見・学びの機会となるとともに、新たなつながりを創出でき、子どもはもちろん、大人も一緒に学べる「社会に開かれた」授業となった。
- ◆ 子どもたちの真剣なまなざしを受け、「またやりたい」と言う講師も多く、講師の皆さんに学校に興味を持ってもらえるきっかけとなるなど、にしみたか学園及びCS委員会が目指す「多くの人が活躍できる場」づくりにつながった。